

設問番号	一
解答又は 解答例	質地証文 さこ田 中田六畝廿壺歩 分米壺石貳斗三升貳合八勺(以下は略す) というように、古文書の読み下し大まかな現代語訳をする。
出題の意図	古文書の読解を問う問題であり、読み下しと大まかな現代語訳を問うている。古文書の中でも庄屋文書の庶民史料、土地の売買・質入れに関する問題を出すことによって、江戸時代の村の社会状況についての理解度を測る。

設問番号	二
解答又は 解答例	近国外間荒増 豊前小倉辺、御国凡同様 下関浜手石垣不残崩、蔵所未数不申、観音崎岬の町細江、今裏町、東ハ(以下は略す) というように、古文書の読み下し大まかな現代語訳をする。
出題の意図	古文書の読解を問う問題であり、読み下しと大まかな現代語訳を問うている。古文書の中でも大名文書について、日記に記される台風被害に関する問題を出すことによって、江戸時代の自然災害についての理解度を測る。